

迫る インターハイ 兵庫県予選

(6月3日・4日、9日・10日)



排
県立社高校
男子バレー部
球

今年の2月に行われた「兵庫県高校新人大会」で1996年以来、8度目となる優勝を成し遂げた社高校男子バレーボール部。

彼らが次に挑むのは「インターハイ兵庫県予選」。昨年、この大会で準優勝しており、今年リベンジを図る。

しかし、バレー部は今、大きな悩みを抱えている。

それは、

レギュラーメンバーのケガ

「主要メンバーが複数人欠けているので、インターハイへの不安はあります。僕自身、メンバーのがによるポジション変更の可能性もあり、本来のスパイカーとしてのポジションでの練習が十分にできていないので、不安があります。また、会場の雰囲気にのまれてしまうのではとの不安もあります。」と19人の選手を引っ張るキャプテンの白石選手(3年)も不安を隠せない。

インターハイ県予選を目の前にして色々な不安をチームで抱えている状態。それでも、目指すところは、全員同じ、

県予選で優勝し、インターハイに出場

「エースが間に合わないことは覚悟していたので、それ以外のメンバーで戦えるように選手と話ををしてきました。新人戦優勝のプライドを持って戦いたいと思います。」とチームの指揮をとる岡元監督は語る。

社高校の初戦は6月4日(日)。けが人が多くても、主力が欠けていても、今いるメンバーでベストなパフォーマンスをするため、練習に励んでいる。



～けがを背負う3人の選手～

心境 ・チームへの思い



森本陽翔(3年生 ミドルブロッカー)

県新人戦優勝したことでも注目度も高い状況だと思うので、けが人が多いですが、チームの団結力を高めて大会に挑みたいです。

僕のけがは、県予選に間に合いそなので、大会でベストを尽くせるように頑張ります。



〈膝蓋腱炎(靭帯炎、ジャンパーひざ)〉



中村宗真(3年生 レフト)

昨年準優勝だったので、自分の代で出場し優勝したかったですが、けがで出場が出来なく、とても悔しいです。

けが人が多い状態が続いている、正規のポジションではないメンバーもいますが、県予選優勝できるよう、頑張ってほしいです。



峠倫太朗(2年生 セッター)

昨年のインターハイ県予選は準優勝で終わってしまったので、悔いが残っています。

今年の大会にはなんとか間に合いそなので、それまでに自身のコンディションを調整し、ベストな状態にもっていきたいです。



〈左ひざ半月板損傷〉

